

鳴海ヶ丘新聞

第1号

2012年7月10日



栄光まつり開催

六月三十日栄光まつりが開催されました。今回のテーマは「あそび」。普段はあまり体験できない様々な遊びのコーナーを企画しました。音で遊ぶのコーナーでは、いろいろな民族楽器が登場。音の配達人ムロさんのライブや実際に民族楽器を演奏してみたりしました。



オーストラリアの楽器ディジュリドゥは不思議な音ができましたよ。

お花で遊ぶのコーナーでは、バラやカスミ草で小さなアレンジメントを作りました。みなさん自分の出来栄えにっこり。大満足の様子でした。



あそびの祭典開催

お茶で遊ぶのコーナーでは、実際にお抹茶をたててみました。かしこまった雰囲気にとドキドキしながらお菓子とお抹茶をいただきました。他にも若草会主催のバザー、模擬店、ゲームコーナーも大盛況！マリリンバググループBIRTHのコンサートでは、たくさんの方が集まり、大人も子供も素敵なりズムに酔いしれました。一日園内をくまなくまわって、親子で楽しい体験がたくさんできましたね。



園タイムトリップ



今年の運動会は、雨で1日順延された6月10日日曜日に盛大に開催されました。青空の下、親子で思いっきり体を動かしてさわやかな1日となりましたね。ところで、今年の運動会は第何回になるのかご存じですか？答えは、第53回です。さて、鳴海ヶ丘幼稚園は、昭和34年4月に現在の地に開園しました。今年で開園54年となります。ですが、第53回…あれ？1回少ないのはなぜでしょう。



開園当初の鳴海ヶ丘幼稚園

開園した昭和34年は、愛知県下に大被害をもたらした伊勢湾台風があった年です。建ったばかりの園舎も大きな被害を受け、第1回の運動会はやむをえず中止になってしまったのでした。そんなお話を聞くと、今年の運動会を無事に迎えたことに幸せを感じますね。このようにわけで、今年の運動会は、第53回なのでした。

プール大好き



六月から、プール指導が始まっています。朝、登園すると、「今日、プールなんだー！」とうれしそうに話している子がたくさんいます。最初はまず水に慣れるところから。お顔を洗ってみましょう。ブルブルツツ次は水にお口をつけてブクブクしましょう。やってるうちにだんだん何秒もお顔を付けられるようになってきました。今日も夏空に楽しそうなお声が響き渡っていますよ。

水しぶき、キラキラ★

クラス野菜 すくすく



四月にクラスごとに植えた野菜。みんなのお世話ですくすくと成長しました。今日はどうぞくらい大きくなってかな？みんななるなる畑に自分のクラスの野菜を見に行くのがとても楽しみみです。最近では毎日どこかのクラスが収穫した野菜を給食室に持ってきてくれます。食べやすい大きさに切り分けて給食のときにいただいています。とれたての野菜は甘くてとってもおいしいんです。苦手な野菜が食べられちゃったなんていう子もたくさんいますよ。

よもやまばなし

近ごろ至るところで「吼え」ています。「待機児童解消」のための保育所増設、幼稚園の保育園化。その中でもキーワードは「保育時間」です。すべての園を調べることはできませんが、少なくとも日本の国は先進国で最も保育時間が長いといっても過言ではありません。権威ある日本保育学会がこのほど全ての子どもを公衆保障のためにコメントを公表しました。「子どもを育むことは持続可能な社会実現への営み」という一節です。つまり、「保護者の就労状況に応じて保育時間は延びる。子どもと過ごすことの楽しさが分かりづらくなり、少子化が進む」という見解により人類が滅亡してしまうというわけです。

休日、早朝、夜間、病児保育をみなさんはどう思いいますか？先日こんな話をしたら、「へえ」と会場が湧きました。「セブン・イレブンはもとともとfrom 7 to 11つまり朝7時から夜11時までという意味だったんです。」昼夜のない社会、原発問題も起こる中、改めて子どもの豊かな環境を今とに戻す時期にきています。

園長 岡田勝彦

このコーナーは、
「マナーのよもやま(四方山)……さまさま、雑多な話を企画します。
次回をお楽しみに！」